

2020年6月25日

日本医療福祉生活協同組合連合会
代表理事専務理事 片山忍

医療福祉生協連「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う経営状況」の報告

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、日本医療福祉生活協同組合連合会（略称＝医療福祉生協連）は、日本生活協同組合連合会および全国104の医療福祉生協で構成している連合会です。全国に75病院（12,300床）、333診療所、介護老人保健施設や訪問看護ステーションなど1,400を超える介護事業所を有しております。

すでに日本病院団体協議会や日本医師会からも発信されているように4月以降の医療機関の経営は深刻な状況となっています。当会の会員生協（法人）への4月の経営状況調査では、回答した96生協中81生協が前年実績を下回る事業収益であり、そのうち34生協は前年比90%を下回りました。なかでも、外来収益および健診収益の減少は著しく、外来収益は全体の約7割の生協が前年比90%を下回り、うち11生協は前年比80%を下回る状況です。健診収益にいたっては前年比10%台という会員生協もありました。

また、200床以上の病院だけの5月経営状況調査ですが、4月と比べると5月はさらに収益減少が大きくなっていることが分かりました。

医療機関・介護事業所の経営状況を知らせ、国による財政支援を求めるために、4月会員生協と5月200床以上の病院の経営状況について公表いたします。

1. 4月の会員生協調査（96生協回答）

84%の会員が収益前年割れ

① 2020年4月事業収益

96生協中81生協（84%）が前年割れ。34生協が前年比90%を下回る。

事業収益合計：前年比91.8%。

- ・ 医療事業収益合計：前年比89.8%
うち入院同比96.4%、うち外来同比83.6%、うち健診同比62.7%
- ・ 介護事業収益合計：前年比98.5%
うち通所・居宅サービス同比94.4%

9割の会員生協が経常剰余赤字

② 2020年4月经常剰余金（95生協回答）

95生協中、9割にあたる86生協が赤字。うち18生協が50,000千円を超える欠損。また、約半数の生協が経常剰余率▲10%を超えた。

資金繰り困窮6割超え

③ 借入金の検討状況

- ・ 6割以上の生協が資金繰り対策として、福祉医療機構等の借入予定または検討中（2020年6月9時点）。
したがって、「5月診療分の診療報酬等の一部概算払」については、ニーズも利用も低いと考えられる。

2. 5月の200床以上病院調査（15病院集計） 《速報》

事業収益は4月より悪化

① 2020年5月事業収益

5月事業収益は、15病院中14病院が前年比で4月よりも悪化。15病院すべてが前年割れで、前年比60%台の病院も。

15病院合計の収益は、前年比83.8%（4月前年比88.7%）。

内訳では、入院収益前年比87.4%（4月前年比92.2%）、外来76.3%（同79.8%）、健診等46.1%（同63.2%）で、いずれも4月より悪化した。

15病院すべてが赤字

② 2020年5月经常剰余金（15病院集計）

5月の経常剰余金は、すべての15病院がマイナス。

14病院合計の経常剰余率は-13.9%（前年同月+0.27%、2020年4月-15.1%）。

前年同月からは大きく悪化。2020年4月より若干改善したように見えるが、これは5月連休に伴う医薬品・材料の4月前倒し購入などによる費用減少が影響していると考えられる。

3. 国による医療機関・介護事業所への財政支援を強く求めます

会員生協の多くの病院・診療所では、新型コロナウイルス感染症に対応する発

熱者外来、接触者・帰国者外来を設置しました。また、いくつかの病院では、PCR検査陽性者および疑い患者の入院受け入れ、または受け入れ準備を行いました。このことにより病床の一部休止や病床確保（空床）を行ったことで、大きな収益減となりました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響による受診控え、健診自粛、通所介護の利用控えなどが全国で発生しており、その影響も甚大です。

今の状況が続くと多くの会員生協で資金ショートに陥り、経営破綻による医療崩壊・介護崩壊が起これかねません。第2波、第3波に備え、各地域で医療体制・介護体制を継続するために、国による減収分の全額補填などの全面的な財政支援を強く求めます。

以上